

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	河川浄化団体補助金	担当部課	環境クリーン部 環境対策課			
050201			グループ	水環境		
補助開始年度		平成	7	年度	→	終了予定年度 平成 年度

根拠法令	所沢市河川浄化団体補助金交付要綱					
分野別計画・指針	所沢市環境基本計画					
関連・類似事業	生活排水対策事業、不老川清流再生事業					
総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	1節 環境との共生	中柱	3 環境施策への参加と協働の推進
					小柱	(2) 市民、団体、事業者とのパートナーシップの推進
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	市民組織の自立支援		コード	コード		
1231						
補助開始の背景	平成3年に不老川流域が生活排水対策重点地域に指定されたことに伴い、河川浄化の重要性から「所沢市河川浄化団体補助金交付要綱」を制定し、当該流域の団体に対して補助金の交付による支援を行ってきた。以降、市内において河川環境保全活動を行っている団体に対しても、その活動支援を開始した。					
補助の目的	住民の主体的な河川浄化活動の促進を図る。					団体への加盟数
団体における実施事業の概要	市内を流れる河川流域で「所沢市河川浄化団体補助金要綱」の交付要件を満たしている2団体に、補助金の交付を行っている。 1. 所沢市不老川流域浄化市民団体 80,000円 河川浄化活動、周辺環境の保全活動、不老川流域浄化市民団体との連携活動など。 2. 柳瀬川をきれいにする会 80,000円 河川浄化活動、周辺環境保全活動、ふるさとウォークなどの河川環境保全の地域活動など。					2
						単位
						団体

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		180	160	180
	補助額決算 (見込み含む)		180	160	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.21 人	1,932	0.17 人
	事業費合計		2,112	1,757	
	市民一人当たり(単位:円)		6.3	5.2	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
団体活動実績	河川環境保線活動回数	2団体で河川流域の清掃等を実施した回数	回	10	13		
	成果分析	河川環境保全活動実施回数/河川環境保全活動計画回数×100	%	100	100		
			%	100.0	100.0		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input checked="" type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	H20 目標項目	河川浄化団体の取り組みの支援 地域の河川環境の保全	達成水準	各団体において年3回以上の河川浄化事業の実施		時期	平成21年3月末
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
上記評価理由(補助金)		河川環境の保全について地域住民の協力は不可欠であり、地域住民が清掃活動等をはじめ各種活動を通じて川に親しみ、生活の中で川の必要性を認識し、将来住民一人ひとりが主体となった自主的活動につながることから有効である。協働の街づくりの規範となる取り組み団体への補助事業であり引き続き支援する。					
評価日		平成20年5月9日	記入者職氏名		環境対策課長 中 勉		

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り		計画コード	222	
	施策の体系	2-2水環境の保全・回復	施策の方向	2-2-2美化・清掃の推進		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード		
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					